

アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）の概要



- ◆ アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）は、TICAD VIのフォローアップの一環として、都市廃棄物に関するアフリカ各国の知見・経験の共有、人材・組織の能力向上等により、官民の投資を促進し、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するため、環境省とJICA等が中心となって**2017年4月に設立**。
- ◆ プラットフォームの枠組みの下、廃棄物に関する知見やデータの収集・整備や、我が国の廃棄物管理制度や技術に関する研修等の活動を実施。SDGsの目標年である2030年に「きれいな街と健康な暮らし」がアフリカで実現することを目指す。

活動内容

- 人材育成
訪日研修 2回（英、仏語圏）/年
- 全体会合
2017年4月 設立準備会合・設立（モザンビーク・マプト）
2018年6月 第1回全体会合（モロッコ・ラバト）
2019年8月 第2回全体会合（日本・横浜）
2022年7月 第3回全体会合（オンライン）
2025年8月 第4回全体会合（日本・横浜）
- 知見・経験の共有
2022年11月 COP27 「アフリカ廃棄物管理の低炭素化セミナー」
2023年12月 COP28 「埋立地由来のメタン削減セミナー」
マッチメイキング・ワークショップ、Webinar等の実施
- 福岡方式モデルプロジェクト（モザンビーク）
- アフリカ各都市の都市廃棄物処理データ収集（25都市）

メンバー（2025年5月時点）

- メンバー
アフリカ47カ国・198都市
- パートナー
環境省、JICA、横浜市、UNEP
国連ハビタット（ACCP事務局）



チュニス行動指針

3年間（2022～2025）の活動目標：

- 脱炭素移行に向けた、最終処分場の適正管理「福岡方式」の普及
- プラスチック廃棄物・医療系廃棄物・E-wasteの削減、適正処理や資源循環の推進